

寺泊神社仏閣御朱印巡り

神社仏閣の御朱印を集める

神社仏閣によって発行されている“スタンプ”は「御朱印」と呼ばれます。歴史的には、御朱印は宗教的な帰依の証として巡礼者に授けるものであったが、現在では趣味や記念品として収集する人も多いです。様式に多少の違いはあるが、御朱印は通常、手書きの墨書の上に大きな紅色の印が押され、札所名、日付、時には縁起の良い言葉や祈り、詩などが記されています。朱印は「御朱印帳」と呼ばれる専用の冊子に集めることができます。

御朱印はもともと、巡礼者が経典を書き写して寺社に奉納したことを証明するためのものでした。写経は功德を積む行為で、生まれ変わるときに役立つとされ、死後は御朱印帳も遺体と一緒に焼かれました。自分で経典を書けない人は、代わりにお金を払って代筆をしてもらうことができました。時が経つにつれ、写経よりも御朱印の見返りとしてお金を寄付することが一般的になり、現在では多くの神社や寺院で御朱印が用意されています。多くの末社や末寺、歴史的建造物、季節の名所を持つ寺社では、それぞれに異なる御朱印を提供している場合があります。値段は一般的に1枚300円から1,000円程度です。

浄土真宗の法語印

浄土真宗の寺院では、通常、御朱印を提供していません。しかし、最近、御朱印の人气が

高まるにつれて、現在ではその代わりに「法語印（ほうごいん）」を授与している浄土真宗の寺院もあります。通常の施設名と印の代わりに、書道などでさまざまな仏教の教えやフレーズが書かれています。

寺泊での御朱印収集

12世紀後半から14世紀初頭にかけて現在の神奈川県にあった幕府の本拠地である鎌倉には、支配階級の武士に好まれた寺院が数多く栄えました。寺泊も寺院の多さから、かつて「北の鎌倉」と呼ばれていました。港町として貿易船や北国街道を行き交う人々がよく寺泊に立ち寄りました。このことは、この地域の文化や宗教の普及に大きく貢献しました。何年にもわたって寺泊のある一つの主要街道沿いには多くの仏教寺院が建立され、土地の守護神に捧げられた神社が、海に面した丘からそれらの仏教寺院を見下ろしています。

寺泊の町並みの多くは何世紀にもわたって変化してきたが、寺泊を通る約1キロの道には昔ながらの町並みが残っています。民家や商店に混じって、寺泊の白山媛神社や10の仏教寺院に通じるさまざまな鳥居、石段、木造の門が点在しています。寺泊のこの一帯は、さまざまな施設を巡り、御朱印を集めたい観光客にぴったりです。

本殿やお堂で参拝した後、社務所や寺務所に御朱印帳を持って御朱印をもらうことができます。現在、寺泊では5つの社寺で御朱印や法語印を受け付けています。これらの神社や寺院の中には、御朱印を記入するスタッフが対応できるように予約制になっているので、スムー

ズな御朱印巡りを実現するために、以下の情報を確認してください。

照明寺（御朱印）

電話番号：0258-75-2301

参拝時間：午前 8:00～午後 12:00、午後 1:00～午後 5:00

駐車場：あり

備考：スタッフの空き状況については、事前に電話で問い合わせることをお勧めします。写経は要予約です。

白山媛神社（御朱印）

電話番号：0258-86-8758

参拝時間：午前 8:00～午後 5:00

駐車場：あり

備考：事前に電話でスタッフの空き状況を確認することをお勧めします。担当者がいない場合は、社務所脇にある用紙に必要事項を記入し、封筒にお金を入れて賽銭箱に入れてください。御朱印は日本国内に郵送可能です。

法福寺 祖師堂（御朱印）

電話番号：該当なし

参拝時間：午前 8:00～午後 5:00

駐車場：あり

備考：例年 10 月中旬～11 月上旬頃に開催されるつわぶき祭の期間のみ御朱印が用意されています。僧侶が行事中に座る台の手前にある三宝のうえに書置きの御朱印が用意されます。お参りしてから 300 円を賽銭箱に入れて、手を伸ばしてお取りください。

聖徳寺（御朱印）

電話番号：0258-75-2029

参拝時間：午前 9:00～午後 5:00

駐車場：あり

備考：事前に電話でスタッフの空き状況を問い合わせることをお勧めします。

養泉寺（法語印）

電話番号：0258-75-2210

参拝時間：午前 10:00～午後 3:00

駐車場：あり

備考：法語印の受け取りには予約が必要なので、事前に連絡をしてください。日本国内であ

れば後日郵送対応可能な場合もあり。本堂お参り時に、問い合わせください。